

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年 3月16日		
		作成部署	水産事務所海のにぎわい課		
事業名	漁港施設機能強化事業	地区名	舞鶴		
概算事業費	120,000千円	事業期間	4ヶ年		
事業概要	-3. 0M岸壁 L=118m、臨港道路 L=515m、用地整備 A=2,600m ²				
目指すべき環境像	住環境を良くするとともに、海の生物の多様性を守る漁港を目指す				
関連する公共事業	市道舞鶴市高潮対策事業（国土交通省：交付金事業）				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等)	川が海と出会う豊富な水生生物が回遊する環境であり、現況施設の改良工法に係る配慮や水質の汚濁への配慮が必要である。施工地域の周辺海域は、なまこ漁場で、特に施工地の隣接海面はなまこ禁漁区域であり、保護や育成の対策が必要である。	極力、既存施設を残し、水生生物の生育環境の保全に努める。施工中は、汚濁防止膜の設置等の汚濁防止対策を行う。また、改良岸壁前面の掘削の際には事前に汚濁防止膜により周辺に遊泳する魚を移動させ、掘削後石材等を敷き詰め、なまこの育成に資する。		
	地形・地質				
	物質循環 (土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種			○	4
	生態系			○	4
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	現況道路側溝は排水不良を来しており、周辺住民の住環境が悪化している。工事の施工に際しては、臨港道路に近隣する家屋及び漁運給油施設があり、工事の振動への配慮が必要である。また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。	臨港道路の嵩上と側溝整備を行うことにより、排水状況の改善を図る。矢板施工は、無振動工法等を採用し、構造物取り壊しは、低振動破碎機を使用し、近隣家屋等への影響へ配慮する。また、建設発生材は、当該工事や近傍の公共・民間工事と調整し、再利用に努める。		
	水環境・水循環			○	5
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	造成した施設の利用のしやすさなど利用者サイドからの提言を十分把握し、計画策定を進めることは施設の良い利用のため必要である。	施設利用者である漁連や漁協と調整を図りながら計画策定を進める。		
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働			○	4
	その他				